

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 4 回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業について（公開）

①ヒアリング

②採点等

③審査・採択

3 開催日時

平成 29 年 9 月 27 日（水） 午後 7 時から午後 7 時 50 分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

5 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：石黒太一、内山恵悟、内山松男、川上奈津子、川上久雄（副会長）
滝沢隆行、武田輝夫、西嶋明子、星野一巳（会長）、松縄節子
山岸 愛、山岸一之（欠席なし）

- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【星野会長】

- ・会議録の確認：山岸一之委員に依頼

「2 議題 地域活動支援事業について」に入る。

「採点方法に係る申し合わせ事項の追加について」、移住促進諏訪の会に関係する採点者の制限については、文書で事前に送付したところだ。この提案内容について、この場で確認する。採点者の範囲については、本来は地域協議会委員が提案団体の長を務める場合のみ該当事業の採点を自粛してきた。今回、地域協議会委員で移住促進諏訪の会の役員を担っている者はこの団体の提案事業の採点を自粛するという提案である。具体的には滝澤委員、川上久雄委員、石黒委員は採点から外れるということによいか。

（「よし」の声）

それでは、3人の委員は採点から外れることとする。

さて、今回提案された2件の事業について、委員の皆さんによる質疑応答を行う。また、提案者からの事業説明は省略し、質疑応答のみ行うことと事前に通知されているので、確認願う。時間配分については1件当たり10分とし、進行は事務局のベルで行う。開始の際、終わりの1分前、終了の際にベルを鳴らす。それでは開始する。

— 諏-追1 提案者入室 —

【星野会長】

- ・ヒアリングの説明

諏-追1に質疑を求める。

【武田委員】

ホワイトボードの使い方の研修とあるが、その辺を詳しく説明して欲しい。

【諏-追1 提案者】

いろいろな説明には、黒板や紙の資料、口頭説明とかあるが、ホワイトボードの使い道としては、公民館を使う会議が多く、どうしても説明するのに何かを書くことが大切である。特に市高齢者福祉課や社会福祉協議会等も、私のほうで行うのだが、書くものが1つもなく、口頭だけの説明だと理解に苦しむ点が多くある。例えば、地域の半分以上の高齢者が国民年金をいただいているが、川室記念病院に確認

したら、ショートステイの費用は余程の収入がなければ本人だけでは支払いできない。そういったことの説明にホワイトボードを使いたい。また、ホワイトボードを使う先生がいる。身近で言えば、教育大学の副学長で、会議の効率化の進め方も必要だということで提案した。

【川上久雄委員】

黒板があるが、それでは不十分なのか。

【諏-追1 提案者】

黒板でもよいのだが、マナーの問題になるが、黒板を使った人は誰1人、片づけておらず、学ぶだけである。この間も市長が来たときに、いっぱい書いてあったが、次の朝6時に来た時に、6人で掃除した。次に使う人が見れば嫌になると思う。そういったマナーの問題もある。また、和室のほうで使うにはホワイトボードが粉が飛び散らなくてよいと思ったので提案した。

【西嶋委員】

実施スケジュールのところに、「ホワイトボードミーティング」を学ぶということで、10月29日に研修会が開催されるようだが、講師は決まっているのか。

【諏-追1 提案者】

概ね、当たってある。どうなるか知らないが、その日を目安として案として出している。

【西嶋委員】

「各団体から」と書いてあるが参加者はどの程度なのか。

【諏-追1 提案者】

まだ声はかけていないが、各種団体から2、3人くらい参加してもらえればよいと思う。

【西嶋委員】

自分自身としても興味深いと思う。具体的に講師はどなたなのか。

【諏-追1 提案者】

案は持っているが、まだ決まっていないので言えない。

【星野会長】

諏訪の里づくり協議会は日ごろから頑張っておられ、ご苦労さまである。ホワイ

トボードミーティングも活用されれば、本当によいと思う。公民館に置くということだが、管理しているのは教育委員会なのだが、市への要望として打診したのか。

【諏-追1 提案者】

私の聞いたところだと、公民館自体も統廃合の問題も出ているそうだし、置いておくかどうかは分からないらしい。市でお金を出してもらうのも厳しい状況のようである。

【星野会長】

他にあるか。

(発言なし)

これで終了する。

— 諏-追1 提案者退席、諏-追2 提案者入室 —

【星野会長】

・ヒアリングの説明

諏-追2 に質疑を求める。

【武田委員】

最近テレビで移住のことをやっているが、何か呼び込むものがあって来ているというものを覚えている。諏訪地区自体は自然豊かでよいところだと思うが、人を呼ぶのに決め手になるものがあれば聞かせていただきたい。

【諏-追2 提案者】

諏訪のどこが良いのか、人を呼び込むのに何を言って呼び込むのかは、よく考えることが必要だ。どこの地域にも、そこに住んでいる人はなかなか分からないということがある。住んでみれば景色も良いし、どこか良いところがあると思う。私は、この諏訪地区では住んでいる人が当たり前だと思っていることで、他の地域の人から見たらこういうところかということがあると思う。それは、我々がいつも良いと思っていることではなく、我々が普通だと思っていることも、他所から見たら良いと思うこともある。この地域から県内や県外に発信することによって、1 度来て見てみたいということになるのだと思う。

例えば、諏訪小学校が 30 人くらいで少ないことが悪いと思うか、また少ない人数で勉強できることが良いと思うか。良いところも悪いところも皆で考えて現状を発

信していく。

【川上久雄委員】

昨年度、雄志中学校の生徒との意見交換会で、生徒の話を聞くと、ここは住み良いという話があった。こういう会議も大人だけでなく、これからの子供たちも含めて、良さを改めて聴いて、皆に発信していくということもやったらどうかと思うがどうか。

【諏-追2 提案者】

全くそのとおりだと思う。地域のことを発信することだけでなく、これからやることはいっぱいある。今回の提案の中で先進地に行って研修を行うということも、移住促進の関係の先進地域ではどんなことを進めていくのかを勉強してきて、地域の中で移住促進が少しでも進むように、結果、諏訪の活性化に繋がればよいと思っている。例えば、「話合いがあるから出てこないかね」というようなことも、当然事業の中ではいろいろなことを地域と考えていく必要があると思う。

【星野会長】

他にあるか。

(発言なし)

以上でヒアリングを終了する。

これより委員の皆さんから採点をしていただく。採点の終わった委員から順次休憩に入るよう願う。

— 採点・休憩 —

【星野会長】

これより会議を再開する。

「③審査・採択」に入る。事務局に結果の報告を求める。

【野口係長】

前方のスクリーンで投影されている採点結果一覧表を見ていただきたい。

まず、基本審査判定において、自動的に“不採択となる事業”はなかった。

次に、採択方針において“評価の低い事業”も該当がなかった。

採点した人数での平均点は、1位の「諏-追2」が22.7点、2位の「諏-追1」が21.9点という結果であった。赤い字で書いてある採択額は、仮に置いている。これ

から、事業採択、補助額の検討をしていただきたい。

【星野会長】

まずは「採択する事業」について決める。不採択の場合は理由も必要になるので、合せて審議を行う必要がある。採択する事業は、全てとしてよいか。

(満場「よし」の声)

全件を採択することとなった。

次に、「補助額」について決める。全額を採択するか、一部減額とするかについて審議する。減額の場合は理由も必要になるので合わせて審議が必要となる。補助額は、申請のあった額のとおりでよいか。

(満場「よし」の声)

申請金額のとおりに決定した。

以上で2次募集の審査・採択を終了する。結果は、事務局から提案団体にお知らせしてもらう。

次第「3 その他」に入る。「雄志中学校生徒と地域協議会委員との意見交換会の開催について」と「次回開催日について」、合わせて事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・当日配布資料により説明
- ・次回会議は、正副会長と協議のうえ委員に知らせる

【星野会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mailchubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。